



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月26日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年3月21日～2020年12月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	27,497	△5.2	3,190	△6.5	3,146	△9.0	2,016	△12.2
2020年3月期第3四半期	29,000	4.7	3,413	3.9	3,459	4.3	2,297	△32.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,270百万円 (△0.8%) 2020年3月期第3四半期 2,289百万円 (△48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	117.45	—
2020年3月期第3四半期	126.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	57,121	44,737	77.6
2020年3月期	56,615	43,173	75.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 44,337百万円 2020年3月期 42,826百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	20.00	—		
2021年3月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年3月21日～2021年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,541	△5.4	3,573	△15.1	3,516	△17.9	2,490	△11.8	144.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	25,607,086株	2020年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	8,428,690株	2020年3月期	8,438,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	17,173,314株	2020年3月期3Q	18,166,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により期初から経済活動が急激に悪化いたしました。その後、経済活動が段階的に再開されたことに伴い景気はまだながらも持ち直しの動きがみられたものの、冬季に入り再び感染が拡大するなど景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に受注活動への影響があったことや先行き不透明感の影響もあり、新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲一戸建てが大きく減少し、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に努め、関係者皆さまの健康・安全の確保を優先する行動を心がけてまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による建設現場の工事中断や遅延等の影響や新設住宅着工戸数の減少の影響等により、売上高は27,497百万円と前年同四半期に比べ1,503百万円(5.2%)の減収となりました。利益につきましては、原材料単価の下落等はあったものの減収の影響等により、営業利益は3,190百万円と前年同四半期に比べ222百万円(6.5%)の減益、経常利益は3,146百万円と前年同四半期に比べ312百万円(9.0%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,016百万円と前年同四半期に比べ280百万円(12.2%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### (電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。電材及び管材事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による建設現場の工事中断や遅延等が発生したことや、新設住宅着工戸数の減少の影響を受けました。

電材では、地中埋設管「ミラレックスF」と施工性に優れた附属品が増加したものの、硬質ビニル電線管「J管」や合成樹脂製可とう電線管「ミラフレックスS」等の電線管類及び附属品が減少しました。管材では、「ミラペックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少しました。その結果、売上高が20,835百万円と前年同四半期に比べ1,103百万円(5.0%)の減収となりました。営業利益は原材料単価の下落等はあったものの減収の影響等により、2,697百万円と前年同四半期に比べ94百万円(3.4%)の減益となりました。

#### (配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により意匠性の高い配線器具「NK SERIE」が増加したものの、新設住宅着工戸数が減少したこと等により「J・WIDE」等の配線器具が減少した結果、売上高が4,517百万円と前年同四半期に比べ209百万円(4.4%)の減収となりました。営業利益は原材料単価の下落等はあったものの減収の影響等により457百万円と前年同四半期に比べ103百万円(18.4%)の減益となりました。

#### (その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」におきまして、企業の設備投資抑制等により自動車関連向けの樹脂成形用機械が減少した結果、売上高が2,143百万円と前年同四半期に比べ190百万円(8.2%)の減収となりました。営業利益は607百万円と原価率が高かった前年同四半期に比べ42百万円(7.5%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて506百万円増加し、57,121百万円となりました。その主な要因は、内部留保の積み増しにより現金及び預金が251百万円増加、売上高の季節的変動要因により受取手形及び売掛金が454百万円増加、時価評価により投資有価証券が261百万円増加した一方で、流動資産のその他が124百万円減少、将来減算一時差異の減少に伴い繰延税金資産が248百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,057百万円減少し、12,383百万円となりました。その主な要因は、売上高の減少に伴う仕入高の減少により支払手形及び買掛金が523百万円減少、法人税等の納付により未払法人税等が558百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,564百万円増加し、44,737百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1,348百万円、その他有価証券評価差額が187百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び足許の業績動向を踏まえ、2020年10月27日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,625	16,876
受取手形及び売掛金	11,032	11,486
商品及び製品	3,825	3,683
原材料及び貯蔵品	1,131	1,193
その他	940	815
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	33,536	34,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,863	5,952
機械装置及び運搬具(純額)	2,899	3,054
土地	5,395	5,375
建設仮勘定	767	459
その他(純額)	537	759
有形固定資産合計	15,463	15,601
無形固定資産	418	325
投資その他の資産		
投資有価証券	896	1,157
繰延税金資産	1,599	1,351
退職給付に係る資産	170	234
長期預金	4,000	4,000
その他	703	590
貸倒引当金	△172	△177
投資その他の資産合計	7,197	7,156
固定資産合計	23,079	23,084
資産合計	56,615	57,121
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,553	6,030
短期借入金	71	353
1年内返済予定の長期借入金	276	382
未払法人税等	801	242
賞与引当金	—	427
その他	3,402	2,616
流動負債合計	11,105	10,052
固定負債		
長期借入金	297	180
再評価に係る繰延税金負債	105	82
役員退職慰労引当金	98	109
株式付与引当金	841	920
退職給付に係る負債	657	675
その他	336	361
固定負債合計	2,335	2,330
負債合計	13,441	12,383

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	42,924	44,272
自己株式	△15,951	△15,937
株主資本合計	43,578	44,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	192
土地再評価差額金	△497	△548
退職給付に係る調整累計額	△260	△247
その他の包括利益累計額合計	△752	△603
非支配株主持分	346	400
純資産合計	43,173	44,737
負債純資産合計	56,615	57,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
売上高	29,000	27,497
売上原価	17,879	16,861
売上総利益	11,120	10,636
販売費及び一般管理費		
運賃	1,853	1,748
貸倒引当金繰入額	1	4
役員報酬	208	218
給料及び手当	2,534	2,501
賞与引当金繰入額	138	147
退職給付費用	102	108
株式付与引当金繰入額	45	45
役員退職慰労引当金繰入額	11	11
その他	2,811	2,660
販売費及び一般管理費合計	7,707	7,445
営業利益	3,413	3,190
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	26	30
保険事務手数料	4	4
投資有価証券売却益	70	—
作業くず売却益	11	8
その他	97	76
営業外収益合計	222	129
営業外費用		
支払利息	5	4
売上割引	137	133
その他	32	34
営業外費用合計	175	172
経常利益	3,459	3,146
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	62
特別利益合計	—	62
特別損失		
減損損失	—	76
固定資産圧縮損	—	62
特別損失合計	—	139
税金等調整前四半期純利益	3,459	3,069
法人税、住民税及び事業税	915	822
法人税等調整額	208	176
法人税等合計	1,123	999
四半期純利益	2,335	2,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,297	2,016

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
四半期純利益	2,335	2,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	187
退職給付に係る調整額	△16	12
その他の包括利益合計	△46	200
四半期包括利益	2,289	2,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,251	2,216
非支配株主に係る四半期包括利益	38	53



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月21日 至2019年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,939	4,726	26,666	2,334	29,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	—	169	3,325	3,494
計	22,108	4,726	26,835	5,659	32,495
セグメント利益	2,791	560	3,352	565	3,918

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,352
「その他」の区分の利益	565
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△494
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	△18
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月21日 至2020年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,835	4,517	25,353	2,143	27,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	—	150	3,308	3,458
計	20,986	4,517	25,503	5,451	30,955
セグメント利益	2,697	457	3,155	607	3,763

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,155
「その他」の区分の利益	607
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△499
棚卸資産の調整額	△2
有形固定資産の調整額	△78
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,190

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。